



平成31年 1月23日
中部地方整備局
名古屋港湾事務所



建設現場の生産性向上に係わる優れた取組を表彰

～名古屋港の浚渫工事における ICT 活用の取組が
平成30年度 i-Construction 大賞を受賞しました～

名古屋港の庄内川泊地の機能を維持するための浚渫工事を行った(株)おかむらが「i-Construction 大賞」を受賞し表彰されました。
本工事では、名古屋港で初となる ICT 浚渫工の取組により、水中部を「見える化」することで、作業効率を向上させ浚渫期間を短縮するなど生産性向上を実現しました。

1. 「i-Construction 大賞」とは

建設現場の生産性向上を図る「i-Construction」に係る優れた取組を表彰し、ベストプラクティスとして広く紹介し、横展開することにより、i-Construction に係る取組を推進することを目的に平成29年度に創設されたものです。今年度は、全国で25団体が表彰されました。

2. 受賞者及び : 「(株)おかむら」平成29年度名古屋港庄内川泊地外浚渫工事 工事件名

3. 添付資料 : i-Construction 大賞（優秀賞）の取組概要 別紙1

4. 配布先 中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、名古屋港記者クラブ、 港湾新聞社、港湾空港タイムス、日本海事新聞社、海事プレス、 マリタイムデイリーニュース

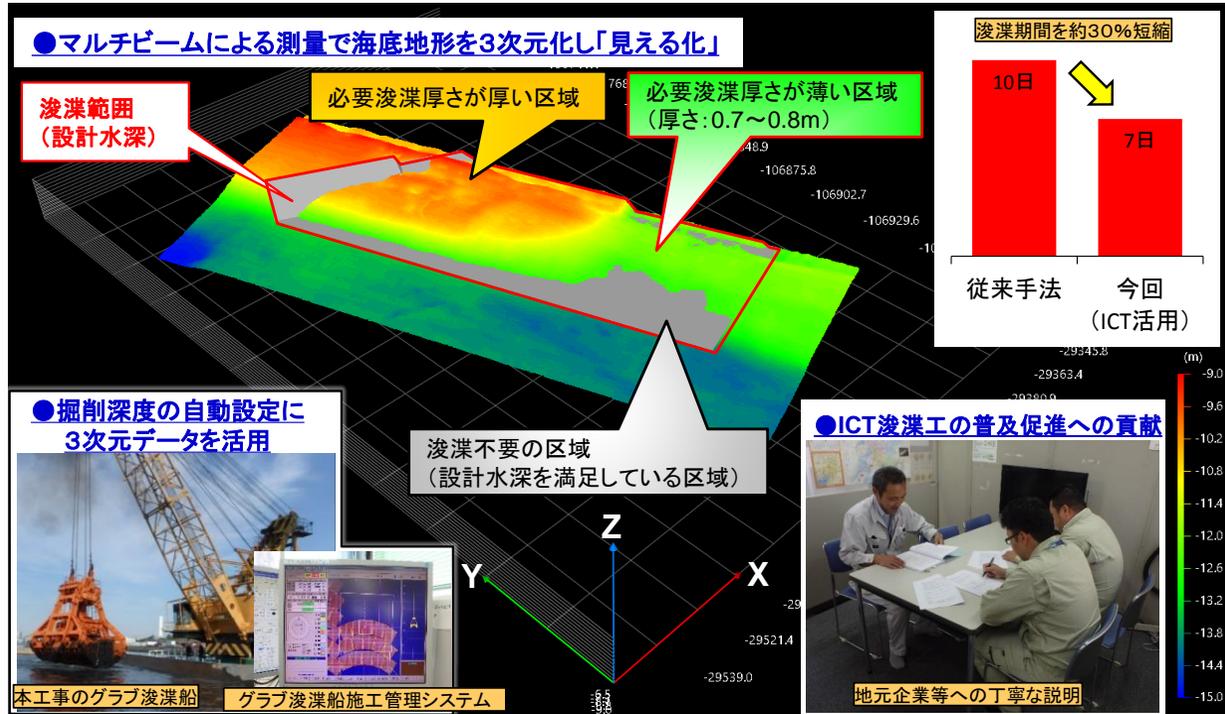
5. 問合せ先 中部地方整備局 名古屋港湾事務所 山田・金子 Tel 052-651-6594 / Fax 052-651-6287

推薦者	中部地方整備局
発注者	名古屋港湾事務所
工期	平成29年12月7日～平成30年3月29日
施工場所	名古屋港
請負代金額	314,280千円

【工事・業務概要】

本工事は、名古屋港航路泊地においてGrab浚渫船を用いた浚渫工事である。

- 浚渫面積 約52,700m²
- Grab浚渫工 約92,000m³
- 揚土土捨工 約92,000m³
- マルチビームを用いた深浅測量(3次元測量)



○名古屋港初のICT浚渫工。施工プロセスの4つの段階(①3次元起工測量、②3次元数量計算、③3次元出来形測量、④3次元データの納品)の特性をよく理解して施工し、作業効率を向上

○施工管理システムなどのICTを活用し水中部を可視化することで、特に薄層(0.7m程度)区域の作業効率が向上し、浚渫期間を約3割短縮するなど現場の生産性向上を実現

○名古屋港初のICT浚渫工を施工した企業として、本工事を通じて得られた知見や課題について地元企業等に向けて積極的に情報発信を行い、名古屋港におけるICT浚渫工のトップランナーとしてICTの普及に貢献



1月21日 国土交通大臣から優秀賞を授与